

美和

○畑うつ長靴の子や赤とんぼ

棟の実留年生に底力

成り行きの一部始終を石路の花

万貴

○トンボの眼里の明日が見えますか

○おみやげにレモン一個の裏話

原体験のそここに樗の実

富江

郁子

○樗の実隣の奥さん子沢山

かるかろと風に遊ばる樗の実

野路菊の群れて峠の山日和

彩香

○半分を見て半分を聴く良夜

○名月や本心つまみ出されたる

セシウムへ飛来せぬ数秋深む

ゆの

道彦

とんぼうも客と数える土讃線

棟の実馬齢かさねたわが肢体

刈田立つ祖父は生涯一農夫

一枝

身をほそめ電線に二羽秋つばめ

彼岸花盛りふるさと後にする

高層のビルの谷間の望の月

美貴

酔花

とんぼ網穴の太さよ七回忌

カーディガン一枚重さね冬隣り

置き物のタヌキがのぞく秋の庭

紀代

おうちの実道にくだかれけものかも

とんぼ入り子等の歓声追われゆく

秋深し特攻語らず叔父逝きて

弘

えり

文子

○忠霊塔梅檀の実のまだ青き

巖美溪トンボも団子も飛びにけり

牟岐線の一両列車秋入日

丞子

農子

○手を繋ぐ園児の帽子棟の実

茜色暫し静止の赤蜻蛉

温暖に荒るる列島赤蜻蛉

味元 昭次 作品

初江

○お城下へ続く長堤棟の実

赤とんぼ流木撤去の黄のクレーン

雨台風避難メールのレベル4

鬼やんまはB 29じゃありません

幼馴染ヒデのたんぼの秋あかね

糸とんぼ石田あゆみという女優

